

草原の草を堆肥に野菜づくり。阿蘇の農業は自然環境を守る大車輪

「阿蘇草原再生シール生産者の会」

農業において、安心・安全な作物を生産するのは今や当たり前のことです。阿蘇で農業を営むには、さらに周りの自然環境にも配慮して農作業に取り組まなければなりません。環境を大切に守った分、大自然から多くの恵みを受け、美味しい栄養満点の作物が収穫できています。このバランスが絶妙な阿蘇は消費者にとつてまさに毎日食べたい食材の宝庫と言えるでしょう。

そんな中、さらに踏み込み「草原再生」を意識した野菜づくりに取り組ま

れているのが「阿蘇草原再生シール生産者の会」の皆さんです。同会は、環境省が取り組む「阿蘇草原再生推進計画」の一つとして平成17年発足。坂梨の市原啓吉さんを代表に現在19人の会員が活動しています。

「野草はいい堆肥になる」と、昔から野草は家畜の飼料としてだけでなく堆肥としても利用されてきました。しかし有機肥料など手軽に使用できる肥料の普及で野草の利用は減少。さらに家畜の減少とも重なり野草の利用がぐ

っと減りました。しかしこれでは花や生き物の宝庫である阿蘇の草原環境を維持できないと、野草の利用を見直すことに。同会では、刈ってきた野草そのものを、また牛馬の糞と混ぜたものを堆肥にして使用。これで健康的に育てた野菜を旬に収穫し、「草原再生シール」を貼り出荷しています。

「消費者に草原の大切さを呼びかけ、需要は伸びていますが、野菜をつくる生産者の方が足りません。ご協力をお願いします！」



阿蘇草原再生シール野菜生産組合長の市原啓吉さん

会の発足以来、自然環境を守りながら安全で美味しい野菜作りを行うという最も阿蘇の農業にふさわしい取り組みとして活動を進めてきました。特にこの2年間は農林水産省のパイロット事業を活用し、各種イベントを実施し、阿蘇の特産物を紹介しながら草原の大切さを呼びかけ、多くの消費者の皆さまのご理解を得ることが出来ました。おかげで「草原再生シール野菜」は現在6店舗で販売されていますが、需要が多く生産の方が追いついていません。農家の方で野草堆肥を使った野菜づくりや環境保全に興味のある方はぜひ、入会をお願いします。



☆草原再生シール野菜の販売☆

- ・ あぜり庵(アゼリア21前)
- ・ はな阿蘇美
- ・ 物産館「自然庵」(南阿蘇村)
- ・ 四季彩いちのみや
- ・ 道の駅「阿蘇」
- ・ きよらカアサ(南小国町)

☆草原再生シール野菜の会員になるには…☆

区分	対象	年会費
生産者会員	会の目的に賛同し、会のルールのもと野草を利用して農産物を生産する会	1,000円
特別会員	目的に賛同し、シール商品販売・流通を進めようとする企業、団体、個人	1,000円
賛助会員	会の目的に賛同する企業、団体、個人	一口3,000円(一口以上)

【阿蘇草原再生協議会の主な取り組み】

- 様々な形で牧野の利用と維持管理を続ける
 - 動植物でにぎわう草原を再生する
 - 草原に理解、愛着を持つ人を増やす
 - 野草資源を活用する
 - 草原再生と結びついた観光を進める
 - 野草地保全に配慮した土地利用を進める
- 阿蘇草原再生推進協議会のメンバーには牧野組合をはじめ地域・各種団体・行政など多くの団体・個人の方々が参加されています。
詳しくは、環境省阿蘇自然環境事務所 ☎34-0254 までお問い合わせください